

特集

商工会の新たな挑戦

～大山グルメ食道プロジェクト～

昨年12月に山陰道が開通し、国道9号線を行きかう車が少なくなりました。町内でも多くの商店で客足が遠のき、大きな打撃を受けています。そんななかで、開通を見越して飲食店を中心に行っている、グルメ食道プロジェクトの取り組みを中心に聞きました。

商工会について

【議員】商工会の業務内容について説明してください。

【八木事務長】平成18年4月に発足した大山町商工会ですが、商工会の健全な発展をはかり、商工業の振興に寄与することを目的としています。

事業の一番大きな柱は、経営改善普及事業で、各事業者の経理、税務、福利厚生にかかわる共済の推進、さらに経営革新や新商品・新サービスの開発の助けを行っています。もう一つの大きな柱が、地域総合振興事

業で、中山で行われる「わいわいフェスティバル」や「大山町納涼花火大会」の実施や、各地区の観光事業への参加、青年部・女性部による町の各種イベントへの出店などを行い、地域振興に携わっています。

また、ふれあいネットという生活サポートという生活支援サービスを行っており、ちよつとした修繕や法律相談などができる事業者を町民のみさんに紹介しています。

【議員】現状の課題や悩みはありますか。

【岸本会長】やはり会員数の減少が大きな課題です。景気や仕事の具合で廃業される



岸本会長(左)と田宮副会長

人もおられますが、後継者がいないというのもも大きな原因となっています。

【田宮副会長】青年部も少なくなっていて、いま町全体で17人しかいません。それでも各地区にイベントがあるので、手分けをして参加している状態になっています。

大山グルメ食道

【議員】昨年からスタートした「大山グルメ食道」について教えてください。

【田宮副会長】最初は、山陰道開通によって交通量が減ることを心配し、なんとか大山町に降りてもらう方法はないかと考えました。

大山というブランドのイメージを生かし、まずは町内産の食材を使った商品を開発してもらいます。ただ作って終わりではなく、途中でモニタリングを何回か行い、辛口なアンケートも真摯に受け